

Web サイト改ざん

瞬間検知し1秒未満で復旧

D I T

10年前にセキュリティソフトの開発・販売に参入、フィッシングメーラー対策ソリューションを主に金融機関に提供してきた。

2014年7月にWebサイト改ざん瞬間検知・瞬間復旧「WebARGUS」(ウェブアルゴス)を開発、提供を開始した。Webサイトの改ざんを瞬間に検知して、1秒未満で改ざんを復旧する。開発の経緯について

「2012年頃から高度化したサイバー攻撃が顕著になり、一般企業のWebサイトが、見た目は全く変わらずに、マルウェア配布サイトに改ざんされ、サイト訪問者が被害に遭うケースなどが増えてきた」という。

これまででは手前で防御する対策が一般的だったが、防御だけでは防ぎきれない昨今の改ざん攻撃に対抗すべく、「フォールダーやファイルが改変された瞬間にそれを検知して、瞬間に元に戻すことにより実害をゼロにしよう」という新しいコンセプトを採用して、新しい手口や内部犯行からもサイトを守る製品を商品化した。

改ざん対策を取っていない場合の影響被害について、DITでは①情報漏えい(機密情報・個人情報)②ビジネス機会の損失③サイト復旧コスト④信用失墜と回復コストを上げており、改ざん対策コストとは比較にならないコストや機会を損失する可能性を挙げた。ウェブアルゴスは、Webサーバーにインストールする監視復旧用ソフト(Agent)と、管理用ソフト(Manager)の2システム構成で機能を提供する。販売価格(ライセンス費)は監視対象サーバー1ホストにつき48万円/年。